

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和4年度 港湾施設の維持管理方策検討業務
業 務 概 要	本業務は、港湾施設の長寿命化、適正な維持管理に資することを目的として、維持管理におけるBIM/CIM モデルの活用手法について検討するとともに、国及び港湾管理者等の実務担当者に対する維持管理講習会の開催を通じて技術情報の提供及び共有を図るものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中部地方整備局副局長 佐々木 淑充 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NUP・フジサワ丸の内ビル
契 約 年 月 日	令和4年8月8日
契 約 業 者 名	一般財団法人沿岸技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2
契 約 金 額 (税 込)	¥11,550,000.-
予 定 価 格 (税 込)	¥11,627,000.-
随 意 契 約 に よ る こ と と し た 理 由	別紙のとおり
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和4年8月8日
履 行 期 間 (至)	令和5年2月28日
備 考	

随意契約理由書

1. 業務名 令和4年度 港湾施設の維持管理方策検討業務

2. 選定理由

本業務は、港湾施設の長寿命化、適正な維持管理に資することを目的として、維持管理におけるBIM/CIMモデルの活用手法について検討するとともに、国及び港湾管理者等の実務担当者に対する維持管理講習会の開催を通じて技術情報の提供及び共有を図るものである。

本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位である一般財団法人沿岸技術研究センターを契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、一般財団法人沿岸技術研究センターと随意契約するものである。

プロポーザル評価表

1.件名 令和4年度 港湾施設の維持管理方策検討業務
 2.所属事務所 港湾空港部
 3.技術提案書の特定通知日 令和4年7月27日

業者名	技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考	摘要
	配置予定技術者の 経験及び能力	実施方針・実施フロー・ 工程表・その他	特定テーマに対する 技術提案			
評価のウェイト	80	80	160	320		
一般財団法人 沿岸技術研究センター	73.00	48.00	106.67	227.67		特定

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。